

第7回とよがわ流域県民セミナー

主催  
愛知県

## 次 第

日時:平成25年10月14日(月・祝) 13:00~  
場所:愛知県西三河総合庁舎

開会

講演①「豊川における流水の正常な機能の維持について」  
国土交通省中部地方整備局河川部河川環境課長 筒井保博氏

講演②「カリフォルニア水銀行における生態系のための水確保の仕組みと実績」  
大阪府立大学現代システム科学域・准教授 遠藤崇浩氏

(休憩) 質問シート記入

質疑応答・ディスカッション

閉会

### 講師プロフィール

筒井保博氏

国土交通省中部地方整備局河川部河川環境課長

遠藤崇浩氏

大阪府立大学現代システム科学域・准教授。  
専門は政治学で特に水管理政策に関心を寄せる。  
2002年慶應義塾大学大学院法学研究科政治学専攻修了(博士(法学))。  
総合地球環境学研究所助手、筑波大学大学院生命環境科学研究科  
准教授(環境ディプロマティックリーダープログラム担当)を経て、  
2012年4月より現職。



主な著書として、遠藤崇浩『カリフォルニア水銀行の挑戦—水危機への“市場の活用”と“政府の役割”』、昭和堂、200ページ、2013年内容(「BOOK」データベースより)  
アメリカ有数の人口と産業を抱えるカリフォルニア州は渇水の常襲地。山岳地の巨大ダムや州全域に張り巡らされた巨大水路網がそれを物語る。しかし1990年代こうしたハード対策の限界を越える歴史的渇水がこの地を襲った。  
そこで編み出されたのが市場メカニズムを導入した水銀行。その後も進化を続ける水銀行のしくみを徹底分析する。

# 設楽ダム連続公開講座 とよがわ流域県民セミナーのご案内

## 1. セミナーの目的

当セミナーは、設楽ダムに関して県民が共に考えるための取組みの一つとして、様々な情報を広く県民に分かりやすく提供することを目的としています。

## 2. 運営主体

5名で構成される運営チーム委員及び愛知県政策顧問によって運営しています。

### 運営チーム委員

◎リーダー（敬称略）

氏名	職名
◎ 戸田 敏行	愛知大学 地域政策学部 教授
井上 隆信	豊橋技術科学大学大学院 工学研究科 教授
蔵治光一郎	東京大学大学院農学生命科学研究科 附属演習林 生態水文学研究所長・准教授
富永 晃宏	名古屋工業大学大学院 工学研究科 教授
原田さとみ	タレント／エシカル・ペネロープ株式会社 代表取締役

愛知県政策顧問のうち知事が指名する者

小島 敏郎	青山学院大学国際政治経済学部 教授
-------	-------------------

## 3. 進め方

運営チーム会議（原則として公開）を開催し、公開講座のテーマ・講師の選定等を行い、順次、公開講座（とよがわ流域県民セミナー）を開催します。

回	テーマ	開催日（予定を含む。）	開催場所
第1回	とよがわ流域って何	平成24年7月28日（土）	愛知大学豊橋キャンパス
第2回	設楽ダムは何のため	平成24年10月6日（土）	愛知県図書館
第3回	設楽ダムと三河湾の環境・生態系・漁業	平成24年11月23日（金）	蒲郡市勤労福祉会館
第4回	設楽ダムへの投資と効果～愛知県財政とダム事業効果を考える	平成25年2月11日（月）	愛知大学名古屋キャンパス
第5回	ダムが河川環境に及ぼす影響～魚類生息と土砂輸送に与えるダムの影響を考える	平成25年5月18日（土）	新城文化会館
第6回	豊川流域の水利用～水を通じて、流域の未来像を考える	平成25年8月3日（土）	愛知大学豊橋キャンパス
第7回	流水の正常な機能の維持のための手段とは	平成25年10月14日（月）	愛知県西三河総合庁舎

第1回、第2回では総論的な情報提供を行い、第3回以降、個別課題を取り上げています。

### ◎情報発信

とよがわ流域県民セミナーについては、愛知県のホームページやフェイスブックで開催案内や開催結果について情報発信。セミナー当日はユーストリーム上で同時配信予定

愛知県ホームページ(<http://www.pref.aichi.jp/>)

フェイスブック(<http://www.facebook.com/shitaradam>)

ユーストリーム(<http://www.ustream.tv/channel/とよがわ流域県民セミナー>)

## 4. 連絡先

事務局：愛知県地域振興部土地水資源課水源地域対策グループ

電話 052-954-6122 FAX 052-961-3293 電子メール [tochimizu@pref.aichi.lg.jp](mailto:tochimizu@pref.aichi.lg.jp)